

再生利用等実施率目標値（案）と食品リサイクル施設の受入能力の比較について

基本方針に定める新たな業種別の目標値（案）から得られる再生利用の仕向量と、現時点で整備されている食品リサイクル施設における食品循環資源の受入能力と比較し、目標値（案）の妥当性について次のとおり検証した。

1. 基本方針に定める業種別の目標値（案）に係る検討

基本方針に定める新たな業種別の目標値（案）を、全て再生利用により達成することと仮定し、平成17年度の食品廃棄物等の発生量の実績値をベースにしたときに、目標値（案）達成するために必要な再生利用への仕向量を算出すると、表1のとおりとなる。

なお、仕向量の合計は713万トンとなり、平成17年度の再生利用（4手法に限る）への仕向量530万トンの1.3倍となる。

表1 目標値（案）達成に必要な再生利用への仕向量

（単位：万トン）

分類		A 目標値(案)	B 平成17年度の食品 廃棄物等の発生量	C = A × B 目標年度における 再生利用仕向量
主に産業廃棄物	食品製造業	85%	494.6	420
	食品卸売業	70%	74.4	52
主に一般廃棄物	食品小売業	45%	262.9	118
	外食産業	40%	304.3	122
合計			1,136.2	713

四捨五入のため、合計と内訳は一致しない。

2. 食品リサイクル施設の受入能力に係る検討

我が国における食品リサイクル施設の1日当たりの食品循環資源の処理能力を年間稼働日数を280日を前提に、年間受入能力を算出すると、表2のとおりとなる。

なお、年間受入能力は、1,331万トンとなる。

表2 我が国における食品リサイクル施設の受入能力

食品リサイクル施設の種類	A 1日当たりの処 理能力(t/日)	B = A × 280 年間受入能力 (万トン/年)
市町村が設置した一般廃棄物処理施設	1,091	31
民間事業者が設置した一般廃棄物処理施設	5,956	167
民間事業者が設置した産業廃棄物処理施設	39,688	1,111
登録再生利用事業者が設置した再生利用施設(有価物のみ)	817	23
合計		1,331

調査対象

1. 廃棄物処理法（以下「法」という。）に係る施設（平成18年3月31日現在の状況）

市町村が設置した一般廃棄物処理施設

法第9条の3第1項の規定により一般廃棄物処理施設（食品廃棄物の再生利用（4手法）を行うも

のに限る)の設置の届出が行われた施設

民間事業者が設置した一般廃棄物処理施設

法第8条第1項の規定により一般廃棄物処理施設(食品廃棄物の再生利用(4手法)を行うものに限る)の設置許可を受けた施設

民間事業者が設置した産業廃棄物処理施設

法第14条第6項の規定により許可を受けた産業廃棄物処分業者(食品廃棄物の再生利用(4手法)を行うものに限る)又は法施行規則第10条の3第2号の規定により、産業廃棄物処分の許可を要しない者として都道府県知事の指定を受けた者であつて、食品廃棄物の再生利用を行う者が設置した食品廃棄物の再生利用業の用に供する施設

2. 食品リサイクル法に係る施設(平成19年8月27日現在の状況)

食品リサイクル法第10条第1項の規定による登録を受けた登録再生利用事業者の業の用に供する施設であつて有価物たる食品循環資源を扱うもの(一般廃棄物及び産業廃棄物を扱うものは1. に包含される。)

また、その他、魚粉製造施設では、年間94万トンの処理実績((社)日本フィッシュ・ミール協会調べ)、廃食用油の油脂化施設では、年間25万トンの処理実績(全国油脂事業協同組合連合会調べ)がある。

3. 結論

基本方針に定める新たな業種別の目標値(案)を達成するために必要な再生利用への仕向量の合計値を、食品リサイクル施設の年間受入能力の合計値が上回っている。マクロ的に見る限り、受入能力は仕向量より大きいが、受入能力は地域によって偏在する面もあり、登録再生利用事業者が存在しない都道府県を中心に登録再生利用事業者制度の普及啓発を進め、また、新たな再生利用事業計画認定制度の普及を図ることが重要である。

なお、年間受入能力は肥料化施設が最も多いが、登録再生利用事業者の事業拡大の意向調査を行ったところ、飼料化業者の70%が事業拡大の意向を有しており、今後、優先的に推進される飼料化施設の整備を促進することが重要である。

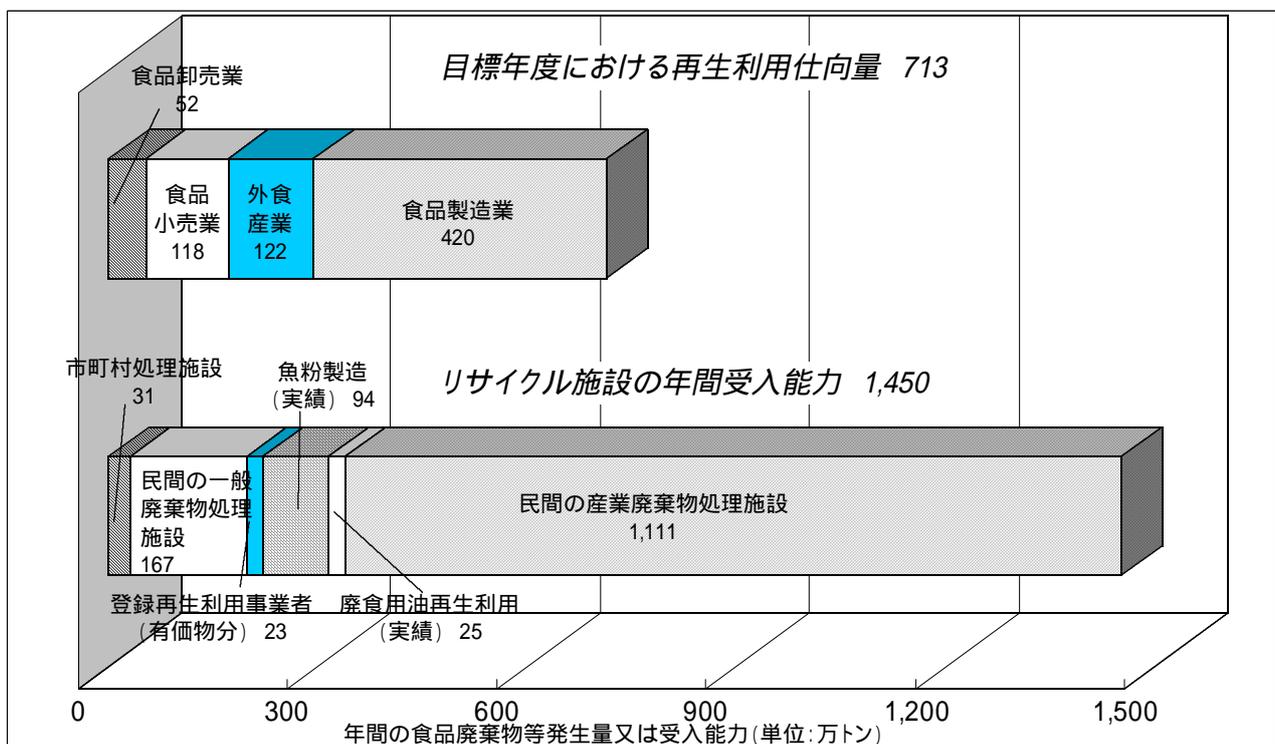


図1 目標値(案)と食品リサイクル施設の受入能力

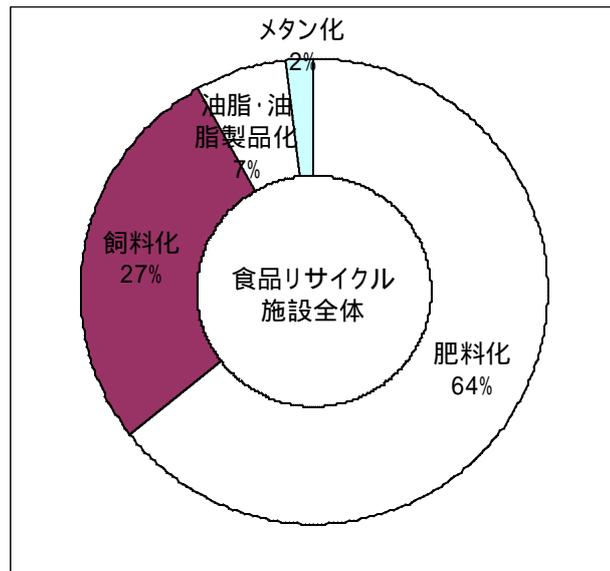
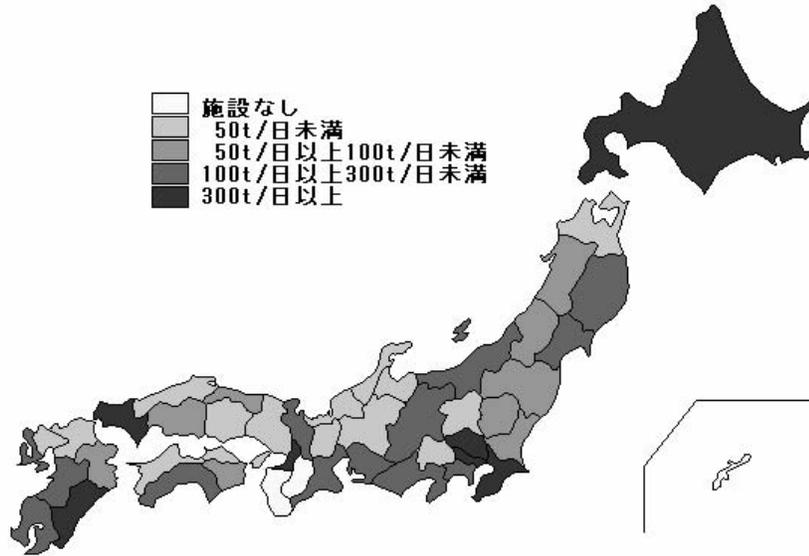
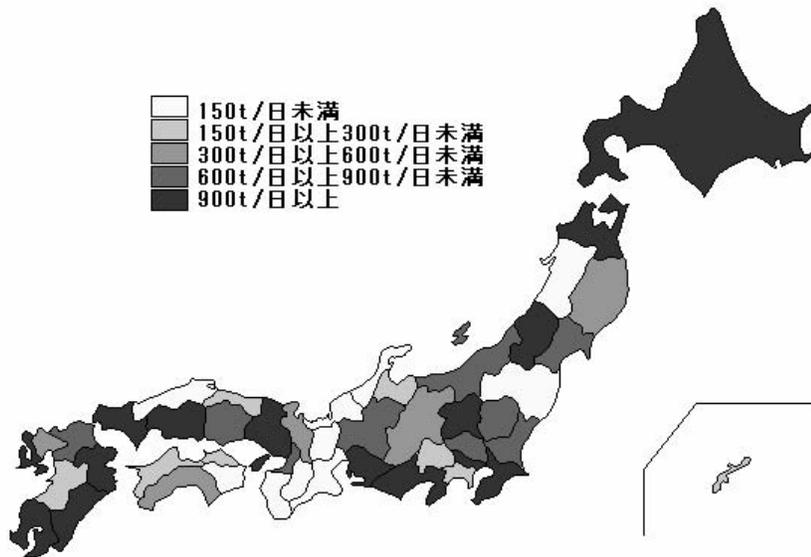


図2 食品リサイクル施設の年間受入能力の再生利用手法ごとの内訳

(参考) 食品リサイクル施設の処理能力分布(一般廃棄物)



食品リサイクル施設の処理能力分布(産業廃棄物)



食品リサイクル施設の処理能力分布 (登録再生利用事業者)

